

二階及び長浜地区藻場造成・保全プロジェクト

プロジェクト概要

人工干潟の造成

1987年度（昭和62年度）に島の西部に位置する長浜地区で運輸省が、また、1989年度（平成元年度）に南西部に位置する二階地区で広島市漁業協同組合が、人工干潟を造成したことにより、光環境や底質環境等のアマモの生育条件が形成されました。

アマモ場の創出

長浜地区では広島市が藻場ブロックを設置し、また、二階地区では、広島市が約5,000m²のアマモの移植を行うとともに、広島市漁業協同組合が藻場ブロックを設置したほか、アマモ場周辺にカキ養殖の抑制棚を設置したことにより水質浄化が進み、アマモの成長を促しています。

特徴・PRポイント

本プロジェクトは、アマモと牡蠣の相互作用を活用することで、水質改善や生物多様性の向上、漁業資源の回復を同時に達成する独自の取組です。

クレジット収益は、アマモの移植や藻場ブロックの設置等による藻場の拡大・維持活動を実施しています。

また、ブルーカーボン及び本プロジェクトの内容を紹介する動画やリーフレットを作成しており、これらの広報ツールを活用し、環境イベント等で、市民や市内事業者に対して積極的な周知・啓発活動を展開しています。

